

被災地をめぐる哲学対話

科学・技術・暮らし・芸術・コミュニケーションを手がかりに

2020年 2月23日(日) 10:00-17:00 入場無料

神戸大学鶴甲第2キャンパス A棟2階 大会議室

プログラム

10:00~10:30 佐藤豊(海辺の図書館カメラマン)・大沢佐智子(舞台美術家)
「暮らしへの思い—荒浜の写真展 2012~2019—」

10:30~11:00 森信子(Wolf-note)
「神戸と福島でゆられて—被災地と文化活動—」

11:00~11:30 辻明典(福島県立相馬支援学校・てつがくカフェ@南相馬)
「南相馬での哲学対話の試み—原発事故の被災地で／について考える—」

11:30~12:00 堀川直子(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター客員研究員)
「避難者たちが語る事故後の暮らし—『語り』と復興施策のはざまをめぐる—」

12:00~13:00 昼食・休憩 (休み時間の後半に作品上映をします。)

13:00~13:30 永幡幸司(福島大学共生システム理工学類 教授)
「音は語る—福島サウンドスケープの9年—」

13:30~14:00 村山留美子(神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授)
「リスクと暮らしとコミュニティ—被災地域で見てきたこと—」

14:00~14:30 稲原美苗・山川哲(神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授・院生)
「見る、感じる、聞く、対話する—東北の被災地で自己を見つめ直す—」

14:45~17:00 パネルディスカッション・哲学対話

写真展示 佐藤豊(海辺の図書館カメラマン)・大沢佐智子(舞台美術家)

作品上映 永幡幸司 (『福島サウンドスケープ』より抜粋)

当日、学食・購買部が閉店しているため、昼食を持参してお越しく下さい。

主催：日本学術振興会科学研究費基盤 (B) 19H01185

「哲学プラクティスと当事者研究の融合：マイノリティ当事者のための対話と支援の考察」(代表：稲原美苗)

共催：神戸大学大学院人間発達環境学研究科 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター (HCセンター)

カフェフィロ <http://cafephilo.jp/>

問い合わせ：minaeinahara@penguin.kobe-u.ac.jp (稲原美苗)